

2024年度

中学生のみなさんへ

図書館で未知の扉をあけよう！

越谷市立図書館のティーンズコーナーには、物語はもちろんみなさんの毎日を豊かにする本がたくさんあります。あなたの未知の扉を開けるカギをさがしに来ませんか？

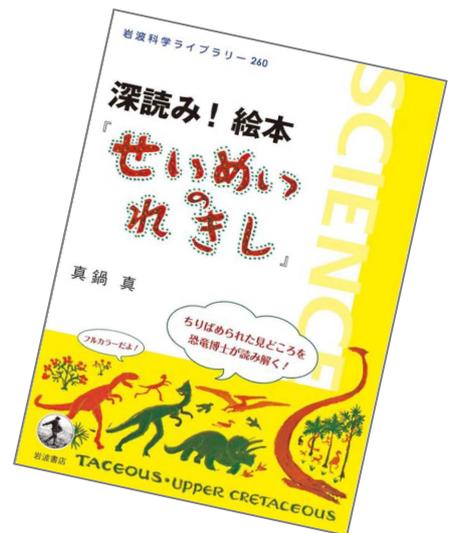
『深読み!絵本「せいめいのれきし」』

真鍋 真／著 岩波書店



← 『せいめいのれきし』（岩波書店）という絵本を読んだことがありますか？
実は、とってもすごいです。この絵本が、どんなふうによいのかというと…。

そこで、この本『深読み!絵本「せいめいのれきし」』です。恐竜博士の^{まなべまこと}真鍋 真さんが、絵本の中に描かれた見どころを解説してくれています。ぜひ、絵本を片手に、この本をよんでみてください。おどろきでいっぱいです。



越谷市立図書館

『ぼくがゆびをばちんとならして、 きみがおとなになるまえの詩集』

【文学】

齊藤 倫／著 福音館書店

自由に感じてみて、詩はおもしろくて、楽しい。

“ぼく”はおもう。「たくさん、くりかえそう。いちどきりのことを見つけるために。たのしいことも、くるしいことも。人生がつづくかぎり、ほんとうの、くりかえしなんてものはないんだから。」

物語を楽しむように、詩を楽しみ、言葉について考える1冊。



『チャンス』 はてしない戦争をのがれて

【文学】

ユリ・シュルヴィッツ／作 小学館

物語や芸術は、人が生き抜くための大きな力になるー。

ユダヤ人絵本作家である作者とその家族が生きのびたのは「偶然（チャンス）」でした。けれども、死と隣り合わせの過酷な日々を乗り越えてきた彼だ



『よあけ』

からこそ、世界の美しさをうたうような絵本『よあけ』（福音館書店）を描けたのかもしれませんが。今、出会ってみたい1冊です。

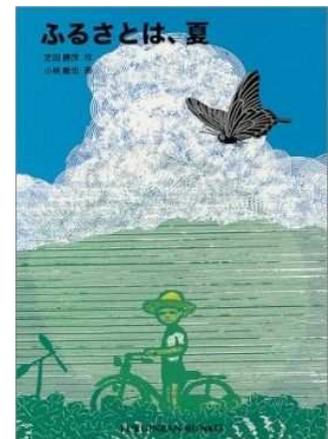


『ふるさとは、夏』

【文学】

芝田 勝茂／作 福音館書店

みち夫は、夏休みを父のふるさと・五尾村で過ごすことになった。従姉に誘われて参加したバンモチという伝統行事の夜、みち夫と不思議な少女ヒスイは、どこからともなく飛んできた白羽の矢をめぐる謎にまきこまれてしまう。二人の前には、ブンガブンガキャー、ジンミョー、スクナ彦、イツオ彦、クエ彦など奇妙でおかしな神様たちも現れて…。



『考えたことなかった』

【文学】

魚住 直子／著 偕成社

学校のテストや部活動で成果が出ず、モヤモヤしている中学生の颯太。最近、妹からは「お兄ちゃんも家事をやって!」とよく言われる。不思議なネコとの出会いをきっかけに、知らないうちにさせられている競争や、日常で感じるジェンダーバイアスについて考え始めます。



←あわせて、『いいたいことがあります!』も読んでみてください。



『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』 【知識】

中野 吉之伴／著 理論社

今、うまくいかないことがあっても、それで何もかもが終わりじゃない。
気づいていない、知らないだけで、選択肢はたくさんあるんだ。



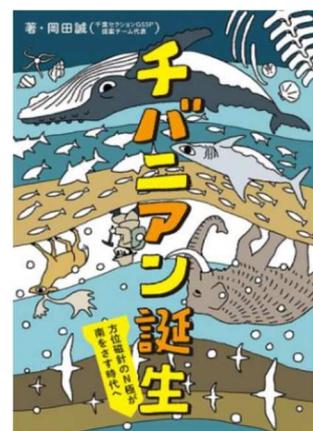
今選んでいない全然違う「好き」に、これから出会うかもしれない。
自分の頭で考えて、自分を信じて進もう。そんな勇気をくれる本。
←『中高生のスポーツハローワーク』(学研プラス)もぜひ。



『チバニアン誕生』 方位磁針のN極が南をさす時代へ 【知識】

岡田 誠／著 ポプラ社

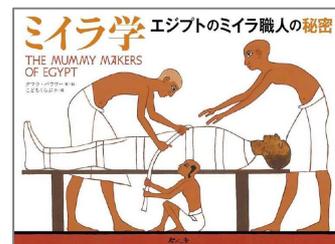
「チバニアン」を知っていますか？怪獣の名前ではありません。おとなり千葉県にある世界に認められた地層の名前です。今、コンパスの針は必ず北を指します。でも、そうでなかった時代があったのです。77万年前、千葉県ようろうけいこく養老溪谷は海の底でした。そのころ、地磁気の逆転が起きました。それ何?と思ったらぜひ読んでみてください。地球は不思議でいっぱいです。



『ミイラ学』 エジプトのミイラ職人の秘密 【知識】

タマラ・バウワー／著・絵 今人舎

古代エジプトのミイラ職人の仕事を、色鮮やかな絵で再現。ミイラ職人になりたい人必見の1冊!? 古代エジプト人は、ミイラのつくり方を書き記すことはありませんでした。それは、ミイラ職人一家のいっしそうでん一子相伝で、父から子へ語り継がれる秘密の技術だったのです。3,000年前の、古代エジプト人が信じた死後の世界に、思いをはせてみませんか。



『虫ぎらいはなおるかな?』 こんちゆう昆虫の達人に教えをこ乞う 【知識】

金井 真紀／文・絵 理論社

著者の金井さんは虫が大の苦手。でも、このまま「理不尽な理由できらい」でいいのか。せめて虫ぎらいは脱したい!この本は、昆虫館の飼育員、虫のアーティスト、「こわい」の心理を分析する認知科学者など、さまざまな達人とのインタビューの記録です。なお、本文に出てくる昆虫は金井さんの楽しいイラストで描かれていますので、虫ぎらいな人も安心して読んでください。



2024

越谷市立 図書館 利用案内

利 用 案 内

★開館時間

- ・午前10時～午後7時(火曜日～金曜日)
- ・午前9時30分～午後5時(土・日・祝)

★休館日

- ・月曜日、振替休日など
- ＊くわしくは、ホームページを確認してください。

★はじめて本を借りるとき

- 利用券を作ります。
- 「健康保険証」や「学生証」を持ってきてください。

図 書 館 の ツ ポ

パソコンやスマートフォンから本の検索や 予約ができる

＊くわしくは、図書館ホームページ トップページを見てね。



↑「かんたん蔵書検索」で、本の検索をすることができます。



←「利用者のページ」から予約ができます。

はじめての方は、パスワードを発行してください。

スマホで見るときは検索もここから!

中学生・図書委員が作成したポップで おすすめ展を開催



『赤毛のアン』モンゴメリ/原作
ポプラ社



『風になう』額賀 湊/著
文藝春秋

展示の様子は、図書館ホームページでも紹介しています。
みなさんからのポップをお待ちしています!

お 知 ら せ

＊くわしくは広報やホームページを確認してください。

子ども向け講演会 「図書館からはじめる最新恐竜学」

講師 国立科学博物館・副館長
まなべ まこと
真鍋 真さん

日時 9月1日(日) 14:00～

場所 市立図書館 2階 視聴覚ホール

申込み 8月6日(火)～電子申請で申込み 『真鍋先生の恐竜教室』

＊右の二次元バーコードからアクセスできます。



真鍋 真/著
岩波書店



今後の予定

今年の児童文学講演会に、絵本作家・
鳥の巣研究家の鈴木まもるさんが来ます。
実物の鳥の巣を約20個、持ってきてくれます。

日時 10月19日(土) 13:00～

場所 サンシティ展示ホール(南越谷)

＊電子申請で申込みの予定です。



『鳥の巣いろいろ』
鈴木まもる/作絵
信成社



越谷市東越谷4-9-1

☎048-965-2655

越谷市立図書館 HP
トップページ

